

海外経済

	6月	7月
世界経済	世界の景気は後退しており、引き続き深刻な状況にあるが、一部に政策対応の効果がみられる。先行きについては、金融危機と実体経済悪化の悪循環により、下振れするリスクがある。	世界の景気は後退しており、引き続き深刻な状況にあるが、アジアを中心に持ち直しに向けた動きがみられる。先行きについては、金融危機と実体経済悪化の悪循環により、下振れするリスクがある。
アメリカ	景気は後退しており、金融危機と実体経済悪化の悪循環により、引き続き深刻な状況にあるが、収縮のテンポが緩やかとなる兆しがみられる。先行きについては、悪循環により、景気後退が長期化するリスクが高い。	景気は後退しており、金融危機と実体経済悪化の悪循環により、引き続き深刻な状況にあるが、収縮のテンポは緩やかになっている。先行きについては、悪循環により、景気後退が長期化するリスクがある。
アジア	中国では景気は持ち直しつつあり、それ以外の国・地域では全般的に深刻な状況にあるが、一部で生産に持ち直しの動きがみられる。	中国では景気は持ち直しており、それ以外の国・地域でも生産の増加ないし持ち直しの動きがみられる。
中国	景気刺激策の効果もあり、景気は持ち直しつつある。	景気刺激策の効果もあり、景気は持ち直している。
ヨーロッパ	ユーロ圏及び英国では、景気は後退しており、金融危機と実体経済悪化の悪循環により、引き続き深刻な状況にある。先行きについては、悪循環により、景気後退が長期化するリスクが高い。	(変更なし)

世界の実質GDP：見通し（2009～2010年）

	2008	OECD		IMF	
		2009	2010	2009	2010
アメリカ	1.1	2.8	0.9	2.6	0.8
ユーロ圏	0.7	4.8	0.0	4.8	0.3
ドイツ	1.3	6.1	0.2	6.2	0.6
フランス	0.7	3.0	0.2	3.0	0.4
イタリア	0.9	5.5	0.4	5.1	0.1
英国	0.7	4.3	0.0	4.2	0.2
カナダ	0.5	2.6	0.7	2.3	1.6

	2008	OECD		IMF	
		2009	2010	2009	2010
ブラジル	5.1	0.8	4.0	1.3	2.5
ロシア	5.6	6.8	3.7	6.5	1.5
中国	9.0	7.7	9.3	7.5	8.5
インド	6.7	5.9	7.2	5.4	6.5

(備考) 1. 2008年は実績値。2009、2010年はOECD “Economic Outlook 85” (09年6月24日)、IMF “World Economic Outlook Update” (09年7月8日) による見通し。

2. ただし、インドの2008年及びOECD見通しは財政年度(4月～翌年3月)による。